

【施策背景】

母の日のギフトといえば、「花」「スイーツ」「エプロン」などが“定番”とされてきました。しかし、近年の生活スタイルや価値観の変化により、「実用的で、自分ではなかなか買わないけれど、もらったらうれしい」ギフトのニーズが高まっています。

そこで、Reaplusは、生活者の“本音”を定量的に把握すべく、25～49歳の女性660名を対象に調査を実施。「母の日に贈る／もらうギフト」への本音と傾向を可視化しました。その結果、「気持ちが伝わる」「実用的」「長く使える」アイテムへの支持が高まりつつあることが明らかとなり、「靴下」はそのニーズに合致する新たな選択肢として提案できると判断しました。

【具体施策（Reaplus担当範囲）】

・調査・インサイト分析

- * 「母の日に贈る／もらうギフト」に関する意識調査を設計・実施（全国の25～49歳女性660名）
- * 回答結果をもとに「靴下＝実用性×感情価値」を訴求軸とするインサイトを抽出

・PR／プロモーション設計

- * 調査結果を基に「今だからこそ“靴下”」というメッセージを策定
- * 訴求軸に沿ったコピー・キービジュアル開発
- * 生活者共感を意識したビジュアル撮影（母娘のリアルな距離感にフォーカス）

【実施結果】

- * 店頭ギフト関連売上：昨対比111%を達成（キャンペーン期間中のギフト需要の売上）
- * 「靴下を母の日に贈った」というユーザー投稿がSNS上でも自然発生
- * ブランド側では「例年以上にギフト用途としての購入が多かった」とのフィードバックも得られた

【Reaplus代表 松元 詞音コメント】



「今回の施策では、“習慣”に対して問いを投げかけるアプローチを意識しました。定量調査によって見えた生活者の変化を起点に、PR・ビジュアル・店舗体験へと連動させていく一貫設計ができたことで、売上にもつながる“実動する戦略”を実現できたと考えています。」

【株式会社Reaplusについて】



株式会社Reaplusは「社会に多くのスポットライトを」というミッションを掲げ、デジタルの力で人・商品・サービスに多くのスポットライトを当て、存在に気づいてもらう支援を行う伴走型マーケティングパートナーです。

社名 : 株式会社Reaplus

所在地 : 東京都目黒区青葉台4-7-4 I.W. Place Aobadai 303号室

代表者 : 代表取締役 松元 詞音

設立年月 : 2023年7月20日

事業内容 : コミュニケーションプロデュース事業 / タレント支援事業 / 店舗運営事業

HP : <https://reaplus.jp/>

note : https://note.com/reaplus_